

令和2年度 第3回部長会（概要報告）

- ・日 時 令和2年5月1日（金）午後1時00分～
 - ・場 所 八尾市役所第2委員会室
 - ・出席者 市長・副市長・教育長・病院事業管理者・水道事業管理者・各部局長・理事等
-

【市長あいさつ】

部局長の皆さんには、日々の業務に加え、新型コロナウイルス感染症対策にご尽力いただき、深く感謝申し上げます。

この間、この危機にいち早く対応するため、「八尾市コールセンター」や「特別定額給付金プロジェクトチーム」の立ち上げや「保健所の体制強化」にも取り組み、職員の皆さんに、新たな業務をお願いすることとなりました。このような中であっても、職員の皆さんは、昼夜を問わず、この難局に真正面から向き合い、対応に当たっていただいております。私は、皆さんの働きを、非常に頼もしく、また誇らしく感じているところであります。重ねて感謝申し上げます。

一方、緊急事態宣言から、まもなく1カ月を迎えますが、新型コロナウイルス感染症を巡る情勢は、いまだ先を見通せない状況にあります。本日、危機管理対策本部を開会しますが、この連休中にも宣言の期間延長等について、大きな動きが予定されております。

新型コロナ感染症対応も長期戦となっており、職員の皆さんもかなり疲れがたまっていることと思いますが、体調に留意しながら、引き続き、市民の安全と安心のために、オール八尾市で対応に当たっていただきますようお願いいたします。

さて、この場をお借りして、職員の皆さんに、私の方から2点、課題を提起させていただきます。

まず1点目は、「市役所の業務継続」についてであります。この間、医療機関に限らず、市役所などの公共機関におきましても集団感染が発生したため、施設を閉鎖するなど、市民生活に支障を来している事例が報道されております。本市においても職員の感染が複数出ているように、今や日常生活における感染リスクは高まっており、職場内の感染の広がりも危惧されております。すでに交代勤務や休暇取得の促進など、感染予防策に取り組まれています。市民の安全を守り、業務を継続させるために、引き続き、所属職員の健康管理と体調管理の徹底について、あらためて周知をお願いいたします。

2点目は、「危機をチャンスに変える取り組み」についてです。かつて、「危機」という言葉に、危険という意味のほかに、「好機」、つまり「チャンス」という意味を見いだしたアメリカの大統領がいました。のちほど、現時点での本市の新型コロナウイルス感染症対応について報告がありますが、独自施策についてスピード感を持って展開する自治体の取り組みが報道されているように、いま、自治体の創意と工夫が試されています。

私は、今回のコロナの危機を、是非ともチャンスに変えたいと、強く思っております。八尾市職員の皆さんならきっとできると考えておりますし、また市民も大いに期待を寄せ

ておられます。今一度、全庁をあげて、いま市民のために何ができるのか、何をすべきなのか、しっかりと知恵を出し合ってください。コロナ危機が終わった後にも生かされるような大胆で積極的な提案、今まで当たり前のように行ってきた業務を見直す取り組み、さらには、定例的な行事やイベントの見直しにより、この時間や労働力を市民の安全を守るための業務に振り向ける取り組みなど、危機をチャンスに変えるチャレンジを、職員の皆さんに強く求めます。

暦の上では、明日からも連休が続きますが、今がまさに感染の拡大か、収束かの瀬戸際であり、重要な局面を迎えています。この難局を乗り越え、市民・事業者の皆さまが一刻も早く安心できる日常生活を取り戻すために、引き続き、保健所を中心に、国や府、関係機関と密接な連携を図りながら、私自身も緊張感をもって、職務に臨んでまいります。

まだしばらくこのような状況が続くと考えられますが、どうか皆さん、体調に十分留意いただき、一丸となってこの難局に打ち勝ってまいりましょう。私自身も全力で皆さんとともに行動していきますので、どうかよろしくお願い申し上げます。

最後に、昨年5月1日に私が市長に就任して、本日で一年を迎えました。この間支えていただいた皆さんに本当に感謝を申し上げますとともに、引き続き、新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、市政発展、そして、すべての市民に光が当たる八尾市の実現に協力をお願いいたします。

案件

1 市独自の取り組みに対する意見募集について（新型コロナウイルス感染症対策）

政策企画部長

新型コロナウイルス感染症に対する八尾市独自の施策の検討にあたり、職員に意見募集を行うこととなりましたので、報告いたします。

この間、各部局において、感染症拡大予防への対応策などを緊急に講じているところですが、今回は、直接市民の声を聴き、事業者等とやりとりを行っている職員一人一人から、日々の対応の中で感じる、今必要な取り組みなどに対する意見を募り、市独自策の検討の参考とするため実施します。

募集は、政策企画部長から全職員への個人メールの配信により行います。

提出のあった意見のうち、ニーズ・実現可能性が高いものについては、該当する部局へ、取り組みについての内容等を調整することもありますので、その際はご協力お願いいたします。

【山原財政部長】市独自の取り組みの提案を、受け付ける期限はありますか。

【松岡政策企画部長】感染症対策のフェーズが変われば、意見や対策の変更もありうるため、適宜ご意見をいただきたいと考えております。

2 令和2年国勢調査実施本部の設置について

総務部長

国勢調査は、大正9年の第1回目の調査以降、我が国の最も基本的な調査として5年に一度、全国一斉に行われるものであります。令和2年国勢調査は第21回目に当たり、実施100年の節目を迎える調査となっています。

調査の基準日は、従前と同様に、本年の10月1日時点の国勢について調査が行われるものです。

また、調査回答の手法につきましては、従来からの調査員による調査票の配布・回収、郵送回答、また前回から導入された、オンライン回答が併用実施され、3つのパターンで行われることになっています。

なお、今般の新型コロナウイルス感染状況を踏まえて、国勢調査の対応について、先日、国（総務省）からは、「新型コロナウイルス感染症については、現時点で、同感染症の今後の発生状況について見通すことは難しいものの、状況によっては、国勢調査の調査員事務打合せ会等の開催、調査実施の在り方（世帯と接触しない調査票の配布・回収方法等）に関し柔軟な対応が必要と考えている」旨の通知があったところです。従って、国勢調査そのものの実施の方向性は示されているものです。現状では、今後国から今回の国勢調査の対応についての新たな方向性（非接触を基本とした調査方法）が示されるものと考えております。

次に、実施体制等ですが、5月1日付で、本部長を植島副市長に、副本部長を総務部長とし、各部局長・理事を本部役員とする、国勢調査八尾市実施本部を設置しました。また、調査全体の事務局は、総務部にある、国勢調査実施プロジェクトチームが担います。

なお、実施本部の専用事務所は、同日付でリノアス8Fに移転・開設しておりますので、合わせて報告いたします。

実地調査の体制については、概数ですが、2,163調査区を、市職員及び公募市民等を合わせて、約1,610人体制で臨む予定としております。

本調査については、市内の人口や世帯、就業の状況等の実態を把握することで、地方交付税の交付額算定などでの法定人口として利用されるほか、調査に基づく統計データが幅広く利用される基幹統計調査であり、本市における総合計画など、今回の国勢調査は、本市の政策展開を見据えるための基礎資料の一つとして、重要なものです。各部局長や理事には、調査事務が円滑に進むようご協力を求めることとなりますが、よろしくご協力申し上げます。

また、調査の実施体制として、市職員の指導員を約210名、市職員の調査員を約700名、市民公募等による調査員を約700名の総勢約1,610名体制とほぼ前回に近い体制でのぞみたいと考えております。事務従事者数の各部局への具体的な協力要請につきましては、現在、事務局で作業を進めており、準備が整い次第、メール等で依頼をさせていただきます。

【植島副市長】国は、現時点では国勢調査を実施する方針ですので、各部局の協力をお願いします。国においては、できるだけ対面での調査を避けることを検討しているとのことですので、国から情報が入れば、適宜情報提供いたします。

【松岡政策企画部長】新型コロナ感染症の影響で失業した方などを中心に調査員を募集するなど、市民生活の助けなるよう検討していただきたいと思います。

3 新型コロナウイルス感染症に係る対応について

政策企画部長

4月28日の庁議で決定した本市の新型コロナ感染症関連の支援策につきまして、説明させていただきます。

新型コロナ感染症への対応につきましては、各部局における積極的な対応と協力をいただき、感謝いたします。本来であれば、それぞれの取り組みについて、各部局長から適宜報告

いただくところですが、緊急の対応となったため、今回まとめたの報告となることをご容赦願います。

本件につきましては、4月28日の庁議後、正副議長への報告と全議員へのメール送信を行い、本日の部長会で報告した後、市長から記者レクを開催する予定となっております。

その他、宮田危機管理監から国土強靱化地域計画策定の進捗状況と依頼及び応急対策職員と避難所開設員の選出についての再度の依頼、浅川経済環境部長から八尾あきんど ON DO ネットにおける市内テイクアウトサービス事業者の情報提供がありました。また、浅原健康まちづくり部長から新型コロナウイルス感染症対策と避難所での三密を回避するための意見がありました。

【大松市長】緊急事態宣言が延長されるとの報道がありますが、我慢を重ねて耐えていただいている市民のためにも、本市が今できることをしっかりとやっていきたいと考えています。今回の支援策が最後ではないので、次の第2弾、第3弾とスピーディーに続けていくために、全部局を挙げて協力していただきますようお願いいたします。また、議会においても新型コロナウイルス感染症対策の体制をとっていただいております。議会からの意見についても真摯に受け止め、オール八尾市で取り組んでいきますので、よろしく願いいたします。